

第15回資源循環型肉牛生産シンポジウム2018

“食肉の生産から食卓までを繋ぐ” **日本産肉研究会 第22回学術集会**

シンポジウム

日時：平成30年11月8日(木) 13:00~17:00
場所：帯広畜産大学 講堂 (北海道帯広市稲田町西2線11)

参加費無料

現地検討会

日時：平成30年11月9日(金) 10:00~12:00 (先着25名)
場所：アニマルウェルフェア認証牧場(乳牛)株式会社 坂根牧場
(北海道広尾郡大樹町字大樹396-5)
帯広駅8:30発 解散12:00予定(帯広駅・帯広空港着13:00頃)

シンポジウム (11月8日)

基調講演：『家畜の福祉と肉牛生産』

山本謙治 ((株)グッドテーブルズ・農畜産物流通コンサルタント)

話題提供

1) 欧州諸国の有機畜産とアニマルウェルフェア関連法制との位置づけ

大山利男 (立教大学経済学部)

2) アニマルウェルフェアの評価基準

瀬尾哲也 (帯広畜産大学・(一社)アニマルウェルフェア畜産協会)

3) 有機畜産の理想と現実

小野 泰 (北里大学獣医学部附属FSC八雲牧場)

4) 大自然を家庭の食卓に。『ボーンブロス・八雲』について

諸江栄美 (Rurudo)

5) 赤身評価の最近情報

口田圭吾 (帯広畜産大学)

パネルディスカッション

意見交換会 eビーふ大焼肉パーティー 希望者のみ 会費:3,500円

場所:帯広畜産大学 逍遙舎



現地検討会 (11月9日)

アニマルウェルフェア認証牧場(乳牛)株式会社 坂根牧場

主催:環境リサイクル肉牛協議会、日本産肉研究会、北海道アンガス牛振興協議会、北海道短角牛振興協議会、帯広畜産大学
後援:帯広市、十勝農業協同組合連合会、北海道総合研究機構畜産試験場、北海道酪農畜産協会、北海道オーガニックビーフ振興協議会、
北海道十勝総合振興局、芽室町農業協同組合、NHK帯広放送局、北海道新聞帯広支社、日本農業新聞北海道支所、十勝毎日新聞社

参加申込は日本産肉研究会ホームページにて

日本産肉研究会事務局 [東北大学大学院農学研究科機能形態学分野] 事務局長・渡邊康一
e-mail: jsmp@g-mail.tohoku-university.jp ホームページ: <http://www.agri.tohoku.ac.jp/keitai/jsmp/index.html>

詳しくは:(特非)環境リサイクル肉牛協議会 理事 花房俊一(北の牧場舎) e-mail: kanrikyo@e-beef.jp
現地窓口・(地独)道立総研機構 畜産試験場 肉牛G 佐藤幸信 e-mail: satou-yukinobu@hro.or.jp